

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
健康教育事業	490	健康教育事業	01	01	一般会計
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	04	04	衛生費
担当部課名		伊賀支所健康福祉課	01	01	保健衛生費
作成者氏名	福永保	連絡先	01	01	保健衛生総務費
		45-9105	102	102	保健事業
			細々目	02	健康教育事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
事業の目的	概ね40歳以上の方	健康に関する正しい知識を身に付け、生活習慣の改善を図ることで、生活習慣病をはじめとする疾病の予防ができます。			
本年度事業内容	①糖尿病予防教室の開催 ②認知症予防教室の開催 ③出前講座の実施	耐糖能障害のある方を中心に、7回コースで食事の摂取の仕方や運動の方法について学んできました。 認知症予防を目的に、概ね65歳以上の方を対象に、脳に刺激を与えるような内容で教室を開催しました。 老人クラブ等の団体の要請に応じて、保健師が講演に出向きました。			
開始年度	昭和 58 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	165	57	57
報償費	10	20	20
需用費	71	17	17
委託料	20	20	20
その他	64		
合計(A+B)	7,365	7,257	7,257
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	114	38	38
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	7,251	7,219	7,219
上記①～③に関する特記事項			
嘱託栄養士投入人員:0. 1人(17、18、19年度とも)			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
生活習慣病予防教室受講者数	実人員	11	20	20			
認知症予防教室受講者数	延人員	1,597	1,600	1,600			
出前講座回数	回	9	10	10			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
生活習慣病予防教室受講者の検査結果改善度	教室受講者数を分母として、受講前より検査値に改善が見られた方を分子として、その改善度を指標とします。	%	62.5 目標 (70)	70.0	75.0
認知症予防教室受講者実人員	認知症の予防のためには、閉じこもりを防ぎ、脳を活性化させるプログラムの実施が有効です。教室の受講実人員を指標としました。	人	213 目標 ()	220	230

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

生活習慣病予防教室は、年度毎に各支所でテーマを分担して実施しています。認知症予防教室は、浜松二段階方式というスケールを使って、認知症の可能性を観察しながら実施しています。18年度より、65歳以上の方で基本健康診査時に実施される生活機能評価により、認知症の予防に必要な特定高齢者の判定がなされます。認知症予防の必要な高齢者の脳の活性化のできる場として、今後更に必要性が高まります。

評価	必要性	4	老人保健法に基づいて実施される保健事業の一つであり、今後とも受講者が新しい知識を身に付け、具体的な改善のための方策を身に付けることができるように充実を図りながら、継続をしていきます。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	4		